2024年2月9日

窓口支援事例　【INPIT 徳島県知財総合支援窓口】 平成 30 年度版

企業情報

まるいラボ

所在地	徳島県徳島市		
ホームページ URL	https://maruilab.com/		
設立年	2018 年	業　種	製造業
従業員数	２人	資本金	―

企業概要

重度心身障害の娘を持つ私たち家族は、我が子の成長に応じて、たくさんの工夫をして生活してきました。また、そんな工夫を楽しみながら、障害の有無に関わらず、地域でたくさんの仲間たちと過ごしてきました。その私たちの工夫が多くの方に役立つことを教えてくれ、商品化への一歩を踏み出させてくれたのは、当事者の仲間たちや周りの方々でした。

こうして、「まるいラボ」が 2018 年３月にスタートし、４月より「ちょい楽ばんど®」の販売を開始しました。お陰さまで、半年で１００個の販売数に達し、毎日の注文や問い合わせの対応に追われています。

布製のちょい楽バンドに加えて、風呂場でも使用できるメッシュタイプのちょい楽バンドも販売されています。

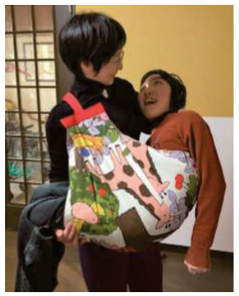
自社の強み

全国肢体不自由児者父母の会連合会の総合カタログに「ちょい楽ばんど®」が掲載され販売を進めています。また、障害者関連の医療機関でも製品を紹介してもらっています。更に、フェイスブックやホームページから製品情報を発信し、直接注文を頂いています。

「ちょい楽ばんど®」は、全国の女性から生活に役立つアイデア品を募る婦人発明家協会（東京）の「なるほど展」で厚生労働大臣賞に選ばれました。

また、2018 年８月には「24 時間テレビ愛は地球を救う」の徳島版で「ちょい楽ばんど®」が紹介され、多くの皆さんからの反響がありました。

一押し商品



「ちょい楽ばんど®」（右写真）は、横抱きによる移動介護のサポートをする携帯用移動介護補助具で、介護負担が軽減できることはもとより、軽量で収納袋に小さくまとめて持ち運びに便利であるため、災害時の備えとして緊急時にも役立ちます。また、安心な手作り品であり、.お洒落な色柄を選べるなどの特徴があります。

特許登録第７１３３１８４号、商標登録第６０６１３０２号、意匠登録第１６０５９０４号を取得しています。また、会社名の「まるいラボ」も商標登録第6118161号を取得しています。

知財総合支援窓口活用の概要（記：窓口担当者）

窓口活用のきっかけ

徳島県肢体不自由児者父母の会連合会の会長である圓井社長が介護補助具を開発しました。ご友人よりＩＮＰＩＴ徳島県知財総合支援窓口の紹介を受けたことがきっかけで、相談することとなりました。

最初の相談概要

相談者が開発した介護補助具のアイデアを知財で守る方法についての相談があり、その内容を踏まえ、特に特許・意匠の概要を説明するとともに専門家（弁理士）相談も紹介しました。

その後の相談概要

特許や意匠登録の可能性や、類似する製品を相談者が見つけたため、専門家（弁理士）に相談したところ、登録の可能性があるとの結論に達して、特許・意匠を出願することとなりました。

その後、生地、部品の購入や製造委託先の決定、会社の立ち上げなど、よろず支援拠点に連携を依頼して、事業立ち上げや販売方法についての支援を行いました。また、介護製品の強度を測定するため、徳島県立工業技術センターを紹介して介護製品の安全性を確かめることができました。加えて、専門家（弁護士）相談により、製品の表記方法についてアドバイスを受けました。以上のような支援により着々と販売する準備が整い、販売に至りました。

窓口を活用して変わったところ

知財総合支援窓口が中心となって、弁理士や弁護士の専門家、よろず支援拠点、工業技術センターなどの支援機関と連携することで、相談者の事業化の夢を叶えることができました。相談者が日常使っていた介護製品が同じ悩みを持つ介護で困っている人々を支える製品となって、世の中に出ることが可能になりました。

企業からのメッセージ

これからも、一人の障害児の母親として当事者と家族の声を聞きながら、工夫いっぱいに、みんなに役立つものづくりと、新しい視点で障害児者の社会参加と障害理解の啓発を、「まるいラボ」を通して行っていきたいと思っています。また、製品を販売することができたのも、知財総合支援窓口を訪問して、皆さんの支援を受けることができたためと思っています。

窓口担当者から一言　（氏名：井上　修）

女性の相談者には、婦人発明家協会の「なるほど展」を紹介しています。社長さんは、特許出願後直ぐに、「なるほど展」に応募し受賞することができました。「ちょい楽バンド®」を携帯して娘さんと東京で開催された授賞式に出席されました。これから益々ご活躍されることを期待しています。